

JP018 釧路湿原 (くしろしつげん)

北海道：釧路市、釧路町、標茶町、鶴居町

位置	N 43° 07' E 144° 25'
面積	約 33,000ha

環境構成【開放水面／湿生草原／樹林／農耕地】

釧路湿原は、面積約 18,000ha の日本最大の湿原で、主にヨシ・スゲ類の低層湿原とその周囲のハンノキ林で形成されている。集水域となる湿原周辺の丘陵地には、ミズナラ、シラカンバなどの二次林が広がっている。タンチョウにとって、湿原そのものは営巣地として、また周辺域の牧草地帯は越冬地として、いずれも最大規模となっている。近年、湿原そのものや集水域に対する開発行為により、面積の減少および植生の急速な変化が問題になっている。



写真：西岡秀観

選定理由

A1	タンチョウ
A3	タンチョウ

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（釧路湿原）、国立公園（釧路湿原）、自然環境保全地域

<その他>

ラムサール条約登録湿地、東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ参加地、国指定天然記念物釧路湿原

保全への脅威

- ・太陽光発電所の建設が、湿原を含む周辺の原野で急速に拡大している。
- ・アメリカミンクが定住しており、河川沿いおよび湿原域で鳥類への脅威となっている可能性がある
- ・シカの生息数増加により、湿原周辺山林の裸地化した斜面からの土砂流入、および湿原内への侵入による植生踏付けと特定の植物の摂食により、鳥類が間接的に影響

を受ける可能性がある

- ・集水域の開発行為による環境悪化

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
その他：タンチョウは増加、シマフクロウは微増、その他は不明
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有（タンチョウに関して）
＜調査データの入手方法＞
NPO 法人タンチョウ保護研究グループ
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある：上記 2.2)の太陽光発電所は釧路湿原国立公園内で 67ha を改変する。
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
悪い（40～70%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

- ・ 環境管理：実施者（北海道開発局）
内容：釧路湿原自然再生事業の一環として、釧路湿原北部の茅沼地区で釧路川の直線化部分 1.6 km を蛇行した旧河川 2.4 km に復元し、湿原植生や魚類の生息環境を復元した（2007～2011 年）。現在は効果のモニタリング中。
タンチョウ営巣地の買取・管理、自然採食地の管理（(公財) 日本野鳥の会）
周辺民有地の購入、購入したトラスト地の植林（トラストサルン釧路）
ハンノキの伐採（環境省、国交省、市民団体）
給餌場の管理、ねぐらの整備巡回監視（鶴居村）
- ・ 外来種のコントロール：実施者（ 釧路湿原ボランティアレンジャーの会 ）
内容：特定外来種のウチダザリガニの駆除調査として温根内地区周辺でカゴや網による捕獲を 5 回実施し 1,100 匹以上を駆除した（2013 年度）
- ・ 環境教育活動：実施者（タンチョウコミュニティ 他 ）
内容：地域の子供や女性団体と協力農家の畑を借りてタンチョウの餌となるデントコーンを栽培・収穫、実ほぐしまで行い給餌人に寄贈する。この他釧路湿原自然再生普及活動として 53 組の団体・企業・個人により 77 件の活動が行われ、延べ 8 千人以上が釧路湿原に親しむ、知る活動に参加した（2013 年度）
- ・ モニタリング調査：実施者（開発局）
内容：釧路湿原北部の茅沼地区で行われた釧路川の蛇行復元事業地でヨシ・スゲ群落の回復やハンノキ林の推移を把握する調査を継続中（2012 年度～）。
タンチョウの営巣状況モニタリング調査（(公財) 日本野鳥の会）

- ・経済活動を通じた保全（エコツーリズム等）：実施者（ 鶴居村振興公社 他 ）
内容：どさんこ（北海道産和種馬）による国立公園内でのホーストレッキングが行われている。この他、各種団体・個人ガイドによりカヌーやバードウォッチング、植物観察等の様々な有料ツアーが行われている。

IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・トラストサルン釧路
- ・鶴居村タンチョウ愛護会
- ・釧路湿原自然再生協議会

見られる鳥

釧路湿原周辺ではこれまでに約 175 種の野鳥が確認されており、タンチョウの最大の生息地である他、多くの渡り鳥が利用している。

留鳥	マガモ、カワアイサ、トビ、オジロワシ、ハイタカ、エゾライチョウ、タンチョウ、オオセグロカモメ、シマフクロウ、フクロウ、ヤマセミ、ヤマゲラ、アカゲラ、コアカゲラ、コゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、エナガ、ハシブトガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、キバシリ、ウソ、シメ、スズメ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス
夏鳥	アカエリカイツブリ、アオサギ、チュウヒ、チゴハヤブサ、コチドリ、イソシギ、ヤマシギ、オオジシギ、キジバト、アオバト、カッコウ、ツツドリ、ハリオアマツバメ、アマツバメ、カワセミ、アリスイ、ヒバリ、ショウドウツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、モズ、ノゴマ、コルリ、ノビタキ、アカハラ、ウグイス、エゾセンニュウ、シマセンニュウ、コヨシキリ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、シマアオジ、アオジ、オオジュリン、ベニマシコ、ニューナイスズメ、コムクドリ
冬鳥	オオハクチョウ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、オオワシ、オオモズ、ツグミ、アトリ、ベニヒワ、ハギマシコ、オオマシコ
旅鳥	ヒシクイ、タカブシギ、タヒバリ、カシラダカ
迷鳥	ヤツガシラ、セイタカシギ、アカマシコ

関連団体・自治体・施設等

- ・鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ
- ・阿寒国際ツルセンター
- ・釧路国際ウェットランドセンター
- ・釧路湿原国立公園連絡協議会
- ・釧路湿原自然再生プロジェクト
- ・釧路市動物園

- 塘路湖エコミュージアムセンター
- 日本野鳥の会釧路支部



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GedBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community